

# 歯周病のある男性は 心筋梗塞のリスクが **約2倍**

歯周病は、歯周組織に起こる炎症性の疾患で、日本人の成人の7~8割がかかっているともわれています。このたび東京大学の調査で、歯周病が強く疑われる男性は、そうでない人に比べて心筋梗塞の発症リスクが約2倍高いことが明らかになりました。



## 歯周病の予防・改善が 心筋梗塞の予防につながる!?

この研究は、「歯肉出血」「歯のぐらつき」「口臭」の有無で歯周スコアをつけ、歯周病と言われたことの有無や抜けた永久歯の数で分類し、5年間追跡調査し

た結果をまとめたものです。

5年間の心筋梗塞発症率は、歯周スコア0（歯周病の疑いが低い）の人では発症率0.1%でしたが、スコア3（歯周病の疑いが高い）では3.0%でした。また、歯周病と言われたことのある人では1.2%、抜けた歯が5本以上の人では1.5%という結果になり、これらを解析した結果、歯周病が疑われる群では心筋梗塞の発症率が約2倍高くなりました。

歯周病は罹患率の非常に高い疾患ですが、歯磨きなどの適切なセルフケアや、歯石除去・クリーニングなど、歯科医院でのメンテナンスで予防・改善できます。

口の中の健康をあまり重要だと思っていない人もいるかもしれませんが、おろそかにしていると心筋梗塞などの重篤な病気の発症につながるかもしれません。毎食後の歯磨きや定期的な歯科検診を心がけて、口の中の健康管理から全身の健康維持を目指しましょう。